

令和3年度福祉・介護の職場体験事業

■体験プログラム サンプル（参考例示）

日 程: 令和〇年〇月〇日(〇)
 時 間: 〇時〇分～〇時〇分
 会 場: 特別養護老人ホーム 〇〇〇〇

時間	内容	担当職員
〇時〇分	体験者集合	
〇時〇分～〇時〇分	①〇〇法人〇〇施設の概要について 【ポイント】施設・事業所がどのようなサービスを提供しているのか、法人や施設・事業所の理念、地域に果たす役割、さらには体験にあたっての心構えなどについて説明します。	〔職名〕〇〇〔氏名〕〇〇 〇〇
〇時〇分～〇時〇分	②施設・事業所見学	〔職名〕〇〇〔氏名〕〇〇 〇〇
〇時〇分～〇時〇分	③利用者との交流 例1:レクリエーションを一緒に楽しむ 例2:行事への参加 例3:話し相手、趣味活動への参加 【ポイント】利用者と交流する時間を通じて、利用者への理解や、さらには職員の利用者への接し方などを学ぶ機会とします。	〔職名〕〇〇〔氏名〕〇〇 〇〇
	④介護の仕事を体験する（日常業務の体験） 例1:基本的な介護技術の体験 例2:職員の介護業務に密着 例3:配膳・下膳、洗濯物の整理などの日常業務の体験 【ポイント】1日の業務の流れの説明や業務の一部を体験することで仕事への理解を深めます。	〔職名〕〇〇〔氏名〕〇〇 〇〇
〇時〇分～〇時〇分	⑤職員との交流 例1:介護職員のお話(仕事のやりがい、魅力など) 例2:聞いてみたい介護の仕事(質問・疑問など) 例3:介護の仕事について話そう(職員とのフリートーク) 【ポイント】現場で働く職員から仕事のやりがいやその魅力について、直接体験者に伝える機会とします。また、仕事への様々な疑問や質問などに対応することにより、就労不安への払拭につなげます。	〔職名〕〇〇〔氏名〕〇〇 〇〇
〇時〇分～〇時〇分	⑥アンケートの記入（体験のふりかえり）	

- (1) 上記プログラムは、参考例示です。実施要領「4 職場体験の実施内容等」をふまえたものであれば、施設・事業所の企画、または体験者の希望を取り入れながら福祉・介護の仕事の魅力を理解していただくプログラムとしてください。
- (2) 上記プログラムは、1日ですが、複数日にわたって実施するもでもかまいません。その場合は、体験者の年齢や就労経験、体力等を考慮し、体験者に負担のないプログラムを作成してください。
- (3) プログラムを作成する際は、日程・時間・会場・担当職員、体験内容が明確にわかるものを提出してください。
- (4) 申請時とプログラム内容が(体験者の希望等により)変更になってもかまいません。その場合は、実施報告書類提出前に事前に連絡をお願いします。